地域説明会等における多様な課題を抱える児童生徒への支援に対する意見
（いじめ、不登校等への不安について抜粋）

NO	項目	内　容
１	教育機会の確保	不登校の一部の生徒が教育支援センターに通われており、地元の学校になじめなくて校区外の学校に通う子もいたが、どう対応するのか。
２		今は他の学校という選択肢があるが、選択肢がなくなる。
３		実際いじめで学校変わっている生徒もいる。学校変わって、安心して通えているその子たちの逃げ場をなくしてしまう。
４		統合中になじめない子を統合中学校の中で支援と言っても、いじめ問題は、個別に教室を構えてそこで見ていくとか指導していくのは、それはレッテル貼りになる。絶対、余計外される。転校する人もいるが、遠くなったら逃げ場がなくなる。結局、登校拒否になって行き場を失う子が絶対出てくる。教室が違っても学校自体行けなくなる。
５		支援してもらえる場所に行けない。学校へ行けなくなった子どもをどうやって支援してもらえるのか。家に来てくれるのか。
６		統合すると教職員が令和１０年度では１５名ですけど、足りるのか。統合して生徒数が増えて、支援が必要な生徒の人数が増えた時対応できるのか。
７		なじめない子どもに対して、学校作るまではいかなくても、地域の小学校の教室の一つを避難教室として活用していくことができないか。
８	通学への課題	不登校になっていて、教室には入れず別室登校している。学校に行く時間も日によってバラバラで、バス、タクシーはまず無理である。個人でというのが難しい子どもも多いのも分かってほしい。
９		毎日遅刻しながら自転車で学校に通っている子らは、たぶん学校へ行けなくなる。バスにも一人だけでは乗れない。親が連れて行くと言っても仕事がある人は行けない。
１０		通学への不安として、心の問題でスクールバスで行けない子をどう支援していくのか。
１１		スクールバスに乗れない子をどうするのか。バス、タクシー代出すという対策もあるのでは。